

令和5年第1回大和村議会定例会
一般質問通告一覧(3月8日 水曜日開催)

No.	I	市田 実孝	
質問事項			要旨
1	交通弱者支援体制について		1) 高齢化の高まりにより移動支援対象者は、今後ますます増えていくものと予想されるが、新年度から新たに予定されている移動支援事業はどのように計画されているのか。
2	湯湾岳の駐車場・遊歩道の管理整備について		1) 駐車場・遊歩道入口の周りはススキで覆われており、観光客の増加を目指す点からも管理・整備を整えておく必要はないか。 2) 観光客・交流人口の増加において、湯湾岳へ登山者も増えてきているがトイレが整備されておらず困っている状況にあり、設置への検討はされていないのか。
3	旧県道・登森地区避難場所の設置について		1) 去年の避難時において大和浜地区の方々には旧県道に避難されて難儀されたとのことで、高台の避難場所を確保し整備する必要があると思うが計画はされているのか。 2) 旧県道の大棚地区からの整備は進んでいるようだが、大和浜地区からの県道も整備する必要があると思うが予定されているのか。 3) 各集落の高台避難場所の設備・整備は進んでいるのか。

No.	2	中井 文忠	
質問事項			要旨
1 住宅内での動物の飼育について	<p>1) 条例で住宅内での飼育は禁止されているが、何故改善されないのか。</p> <p>2) 同じ住宅に住んでいる人からの苦情はないのか。集落民からの苦情はないのか</p>		
2 住宅地の駐車場について	<p>1) 住宅に住んでない人の車が何年も駐車されている。少しの駐車ならいいが、行政として指導しないのか。</p>		
3 住宅家賃の見直しは考えられないか	<p>1) 住宅家賃が高いと言う事で大和村から引越を計画していると聞いた所です。引越を止めさせることが出来ないのか考えたとき、現在の4万円を超える額の助成があるが、最初から4万円を超える額を支払わない事は出来ないのか。</p>		

No.	3	蔵 正
質 問 事 項		要 旨
1 「子育ての村一番、大和村」の確立に向けて	<p>1) 他市町村に先駆けた大和村独自の保育体制を整備し、「子育ては大和村が一番」と、人が人を呼び込むような体制づくりが必要ではないか。</p> <p>現状の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> *保育士及び保育スタッフの人員不足 <ul style="list-style-type: none"> ・ 0歳1歳及び2歳～5歳の異年齢集団でのクラス分け保育が、人員に余裕のない現状では厳しい。 *人材確保が困難な状況が続いている <ul style="list-style-type: none"> ・ 他市町村や民間でも同じ状況なので、他と違う魅力をアピールする必要があるのでは。 *指揮命令系統の不在 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設が散在しており、園長制度が無いため、各保育所の困りごとや予算の確保等についての協議が図りづらい。 *保育の現状にあった施設になっていない <ul style="list-style-type: none"> ・ まほろば保育所のトイレは0～1歳児には危険で動線的にも不向き(トイレ利用時にほかの子供に目が向けられない等) ・ 大和保育所は2歳から5歳までの異年齢が混ざって利用するがクラス分けができる環境にない。 *将来的構想の不在 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表題に挙げたような構想を立て実現に向けた取り組みを始めていくべきではないかと思うが、そのような提案ができる環境になっていない。 	
2 アマミノクロウサギ研究飼育施設建設に対する村民の不安を解消するために	<p>1) 異常とも言える物価高騰の中、アマミノクロウサギ研究飼育施設の建設費用及び運営方針について、村民は、期待と不安が混ざった思いで見ていると思われるが、具体的な取り組み内容、収支計画を再度示し村民の不安の解消を図るべきではないか。</p>	

No.	4	勝山 浩平	
質問事項			要旨
1	各小学校の児童確保に向けて		<ul style="list-style-type: none"> 1) 今年度の各学校の児童数と児童確保のためのこれまでの取り組みは。 2) 令和4年度の新生児が入学するときの各学校の児童数とPTA戸数の推計は。 3) 存続または統合について、村が考える今後の学校のあり方は。 4) 村が考える今後の学校の在り方を実現させるための具体的な取り組みは。
2	住宅不足解消へ住宅整備の推進を求めて		<ul style="list-style-type: none"> 1) 各集落からの住宅整備要望の状況と今後の集落ごとの住宅整備計画はどのようになっているか。 2) ここ数年、「移住の相談を受けている」との村民からの連絡を受けることが増えているが、入居できる住宅が無いため家を紹介できないという状態が続いているため、早期の解決策を講じてもらいたいが。 3) 子育て世代を呼び込むために、今度の住宅整備において、子育てしやすい住まいづくりという観点に立ち住宅設計を行い、整備を推進してもらいたいが。
3	村のすべての計画の基本となり、行政運営の総合的な指針である令和3年度から12年度までの10年計画「第六次総合振興計画」の策定の遅れについて		<ul style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度から令和2年度までの第5次総合振興計画も2年間遅れて策定されており、第六次総合振興計画も未だに策定されていないがその理由はなにか。 2) 村民の中には、今後農業経営を拡充していく上で、第六次総合振興計画の内容に沿った展開を図っていくため、計画の公表を心待ちにしている方もいるが、村民に示すことが出来るのはいつなのか。

No.	5	前田 清和		
質問事項			要旨	
1	アマミノクロウサギ研究飼育施設(仮称)について		<p>1) 令和5年度より建物の着工が始まりますが、完成・施設のオープンの手配はいつ頃になるのか。</p> <p>2) 年間通しての観光客、入場者数の見込みは</p> <p>3) 施設の運営について、当局の考えは</p>	
2	高齢者移動支援策について		<p>1) 村内を走るルート(コース)等ほぼ計画されていると思いますが、高齢者(利用)される方々にニーズのあった走行も検討出来ないか。</p>	